

救急法講習会の実施方法について

いつも赤十字の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

日本赤十字社山口県支部では、令和2年6月から当面の間、新型コロナウイルス感染症予防のため、救急法講習会を以下の方法で実施いたします。

救急法講習会実施を予定される主催者の皆様においては、実施会場の準備等について、ご配慮いただくようお願い申し上げます。

なお、当該救急法講習会実施方法については、山口県支部独自のものになります。従来の講習方法と異なるため、お伝えする内容や実技等に制限があり、参加される皆様については誠に申し訳ありませんが、ご理解いただけるよう何卒よろしくお願いいたします。

1. 講習の実施にあたって

① 感染防止対策について

- ▶ 参加者のお名前、当日の体温等について別紙「健康チェック表」で控えていただくようお願いいたします。
- ▶ 受講者にマスクの着用をお願いいたします。
- ▶ 受講者にビニール素材の手袋の準備をしていただくよう案内をお願いいたします。
- ▶ アルコール消毒液の準備をお願いします。
(推奨：10名あたり1つ)

(手袋参考)



(ニトリルゴム素材)



(ポリエチレン素材)

② 講習実施会場について

- ▶ 換気を行うことができる会場の準備をお願いいたします
- ▶ 資材を3m間隔で配置いたします。
そのため、十分なスペースを確保できる会場の用意をお願いいたします。
- ▶ マイクの準備をお願いいたします。
- ▶ DVDを視聴できる機材の準備をお願いします。

(資材配置参考)



2. 講習の内容について

新型コロナウイルス感染症対策を踏まえての講習内容となります。

下表の内容に沿って実施いたします。

※ 従来の実施内容とは異なります。従来行っている「人工呼吸（呼気吹込み法）」、「人と人が接触する「三角巾による止血法」や「傷病者の搬送法」、3つの密が避けられないグループワーク等については実施いたしません。

① 講習の具体的な内容

	従来の講習内容	新型コロナウイルス対策の講習内容
講義	<ul style="list-style-type: none"> 講習会で用いる資料に沿って指導員によるデモンストレーション ⇒ 訓練用人形を用いて、心肺蘇生法のデモンストレーション ⇒ 訓練用人形を用いて、AEDの使い方のデモンストレーション 	<ul style="list-style-type: none"> 日赤本社作成の「一次救命処置（BLS）-心配蘇生とAED-」を受講者に視聴していただく。 併せて、指導員が講習会で用いる資料に沿って説明。
実技	<ul style="list-style-type: none"> 受講者が訓練用人形を用いて心肺蘇生法およびAEDの使い方の実技練習。 	<p>※ 感染症対策のため、訓練用人形を用いた実技から、心肺蘇生トレーニングツール（胸骨圧迫の練習のみを行う簡易教材）を用いた実技に変更。</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導員による心肺蘇生トレーニングツールを用いたデモンストレーション。 受講者が心肺蘇生トレーニングツールを用いた実技。（1つの資材に対して4人～5人）
	質疑応答	質疑応答

② 使用機材について

・訓練用人形



※訓練用人形については、感染症対策のため、使用しません。

・心配蘇生トレーニングツール



※ 1辺あたり60cm程度

(サイズ比) 参考

